

令和 5 年度河川水有機フッ素化合物調査結果

1 調査概要

道保川における有機フッ素化合物の調査を実施しました。

(1) 項目

ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)、ペルフルオロオクタン酸 (PFOA) 及びペルフルオロヘキサンスルホン酸 (PFHxS)

(2) 測定方法

令和 2 年 5 月 2 8 日 環水大水発第 2005281 号及び環水大土発第 2005282 号 付表 1

2 調査内容及び結果

調査の結果、道保川 3 地点で指針値（暫定）(PFOS 及び PFOA の合計値として 50ng/L) の超過がありました。

表 調査結果

採水日	調査地点 (所在地)	PFOS (ng/L)	PFOA (ng/L)	PFOS 及び PFOA の合計値 (ng/L)	PFHxS (ng/L)
7 月 5 日	道保川泉橋 (南区下溝)	69	13	82 (100)	—
10 月 23 日	道保川公園上流水路 (中央区上溝)	270	59	330 (340)	73
10 月 24 日	道保川公園下流河川水 (中央区上溝)	250	48	300 (200)	—

* () 内は、令和 4 年度に市が実施した結果です。

*有効桁数 2 桁で処理しているため、合計値は必ずしも「PFOS」及び「PFOA」の和と一致しません。

*PFHxS は、PFOS 及び PFOA の測定方法を準用して測定しました。また、PFHxS は水環境における要調査項目として位置づけられ、知見の充実が進められています。

令和 5 年度地下水有機フッ素化合物調査結果

1 調査概要

市内の地下水について状況を把握するため、市域全体を 2 km 又は 4 km メッシュに区切り、令和 5 年度は緑区の調査を実施しました。また、令和 3 年度及び令和 4 年度に指針値（暫定）を超過した地点の継続監視調査を実施しました。

（１）項目

ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）、ペルフルオロオクタン酸（PFOA）及びペルフルオロヘキサンスルホン酸（PFHxS）

（２）測定方法

令和 2 年 5 月 28 日 環水大水発第 2005281 号及び環水大土発第 2005282 号 付表 1

2 調査内容及び結果

調査の結果、地下水 6 地点で指針値（暫定）（PFOS 及び PFOA の合計値として 50ng/L）の超過がありました。

表 調査結果

採水日	調査地点	PFOS (ng/L)	PFOA (ng/L)	PFOS 及び PFOA の合計値 (ng/L)	PFHxS (ng/L)
10 月 24 日	南区上鶴間本町	46	4.4	50 (88)	—
10 月 24 日	中央区上溝 (道保川公園)	150	40	190 (200)	—
10 月 24 日	中央区田名	73	9.0	82 (60)	—
10 月 23 日	中央区星が丘※	330	79	410 (280)	91
10 月 23 日	中央区南橋本	29	1400	1400 (1500)	20
10 月 24 日	中央区清新	69	19	88 (94)	32
10 月 23 日	中央区矢部	58	14	72 (71)	14
10 月 25 日	緑区青野原	<0.1	<0.2	<0.3	—

10 月 25 日	緑区牧野	<0.1	<0.2	<0.3	—
10 月 25 日	緑区長竹	2.5	1.1	3.6	—
10 月 25 日	緑区三ヶ木	11	0.9	12	—
10 月 25 日	緑区与瀬本町	2.6	1.6	4.2	—
10 月 25 日	緑区澤井	0.2	0.2	0.4	—
10 月 25 日	緑区川尻	1.9	1.1	3.1	—

* () 内は、令和 4 年度に市が実施した結果です。

* 報告下限値 (0.3 ng/L) の桁を下回る桁は切り捨て、有効桁数 2 桁で処理しているため、合計値は必ずしも「PFOS」及び「PFOA」の和と一致しません。

* 「<」は、未満を示します。

※令和 4 年度は中央区上溝で調査を行いましたが、同一地点で採水が不可になったため、同メッシュの別の地点に変更を行いました。

* PFHxS は、PFOS 及び PFOA の測定方法を準用して測定しました。また、PFHxS は水環境における要調査項目として位置づけられ、知見の充実が進められています。